

平成 23 年 6 月 15 日

東日本大震災に伴うボランティア活動による単位認定について

福島大学では、東日本大震災に伴う学生のボランティア活動を、従来の授業科目である自己学習プログラムの特例として、単位認定することに決定しました。

福島大学は、東日本大震災関連のボランティアに取り組む学生に対し、その活動時間数に応じて、単位認定を行うことを決定しました。具体的な方法としては、以前から存在する自己学習プログラムの特例として、東日本大震災ボランティアの活動内容でプログラムの申請を可能にしました。

自己学習プログラムは事前申請が原則ですが、今回は震災発生直後からボランティア活動に取り組んでいた学生に配慮して、今年度前期の申請分については、すでに活動を終了したボランティア活動も申請を受け付けることとしました。

東日本大震災関連のボランティアで認定される単位数は、ボランティア活動の合計時間が 45 時間程度で 1 単位、90 時間程度で 2 単位となります。前期の申請は 5 月 31 日に終了しましたが、全部で 59 名の申請がありました。

申請書によると、震災発生直後の 3 月から、多くの学生が地元でボランティア活動に取り組んでいたことがわかりました。これからボランティア活動を行う学生たちも、主に福島県内や近隣の宮城県内で様々なボランティア活動に取り組むこととなります。学生たちが行うボランティア活動の具体的な内容としては、避難所対応やがれき撤去、泥出し、災害住宅の片づけ、街頭募金などです。

このボランティア活動による単位認定は後期も引き続き実施します。

学生のボランティア参加を後押しすることで被災地支援につなげるとともに、本来の自己学習プログラムの目的である学生の自主性・主体性・社会性の育成に期待しています。

自己学習プログラムとは...

学生自身が学習課題を設定し、学ぶことに対する自主性・主体性を育成するとともに、集団の中で行動することのできる社会的能力を養うことを目的とする科目です。

(お問い合わせ先)

教務課教務企画担当 早坂

電話：024-548-8053